

# News Release

2020年6月10日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2020 年 5 月 29 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

## BASF、20 億ユーロの社債を発行

- 持続可能な製品やプロジェクトに充てる資金調達のため、初のグリーンボンドを発行
- 強固な財務体質とサステナビリティ分野での優位性により、魅力的な条件を確保

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は 2020 年 5 月 28 日、総額 20 億ユーロの社債を発行しました。そのうち第 1 トランシェの発行額は 10 億ユーロ、償還期限は 3 年、利率は年 0.101%で、一般的な資金調達として用いられます。また、第 2 トランシェとして、初めてグリーンボンドを発行しました。償還期限は 7 年、発行額は 10 億ユーロ、利率は年 0.25%で、持続可能な製品やプロジェクトに要する資金に充てられます。BASF の非常に強固な財務構造とサステナビリティ分野における優位性により、魅力的な条件を確保することができました。

BASF の最高財務責任者 (CFO)である Dr. ハンス-ウルリッヒ・エンゲル は、次のように述べています。「社債を発行することができ、大変嬉しく思っています。投資家から BASF の社債に対する強い需要があり、これは、当社の堅実な財務政策と持続可能性を重視した企業戦略が資本市場において信頼されているということの表れです。初のグリーンボンド発行により、BASF は資金調達においても サステナビリティ をしっかりと支えています。」

BASF は、サステナビリティ基準に基づく金融商品の枠組みを構築しています。このグリーンファイナンスの枠組みにより、BASF は、環境や社会に明らかに利益をもたらす持続可能な製品やプロジェクトに対する資金を、グリーンボンドを通じて資本市場から調達することができます。こうした社債の発行は、BASF の企業目的「私たちは持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります」と合致しています。BASF は、誰もがより高い生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)を享受できる未来の創造に貢献したいと考えています。こうした理由から、BASF は資源を有効に活用し、新しい課題の解決につながる製品やソリューションを提供しています。

グリーン・ファイナンス・フレームワークおよび BASF の投資家向け資料(英語)は、次の Web サイトでご覧いただけます。 [www.basf.com/green-finance](http://www.basf.com/green-finance).

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

#### ■BASF について

BASF(ビーイーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の 3 つを同時に果たしています。また、全世界で 117,000 人以上の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション&ケア、アグロソリューション)から成ります。2019 年の BASF の売上高は 590 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は、<http://www.basf.com> をご覧ください。